



つるラボ 通信

自ら学び
自ら考える力を
共に育む
2023の活動記録



つるラボは
「自ら学び・自ら考える力」を
共に育むまなびの未来を
創造します

合意形成力

知的好奇心



表現力



大人が楽しそうに見えたら、
子どもたちも、大人になるのが
もっと楽しみになるだろう。



ここではVRや
3Dプリントを
体験できます。

DEGITAL コモンズ

都留文科大学
THMC 6301教室
山梨県都留市
田原3-8-1

主な活動場所

都留文科大学
各教室
山梨県都留市
田原3-8-1

宝の山ふれあいの里
山梨県都留市大幡
5108

木棟

山梨県都留市上谷
2-2-10 (都留市消
防署向かい)

ウィンターキャンプ たき火をやり尽くす デイキャンプ

たき火を
やり尽くし
満月の中で
夜ご飯



まずは1回目



薪が硬くて
なかなか割れない〜



2回目
いい感じ

マッチを使えば火は点くけど
すぐに消える
すぎっぱが足りない？
木がよくない？
薪が足りない？
なぜ火がすぐ消えてしまうのか、
試行錯誤を繰り返します。



1回目のたき火で完璧な火を育
てていた子から、
かまどの中の木の積み方やその
中身、火のつけ方をレクチャー
してもらって再挑戦。



2回目のたき火では、炭に息を吹きかけてすぎっぱに着火させたり、
火がどうなっているのが確認したり、組み直したり、レクチャーを元
にそれぞれが修正。
そこら中であつという間に見事なたき火が育ちました。

WHY?

WHAT?



しろやま
お城がないのにお城山？



しろやま
お城山

ふしぎはっけん

お城山にかくされたふしぎにとびこんでみた！



ミュージアム都留学芸員の福島さんから

そもそもお城ってなに？

お城山はどういう場所？

などざっくりとお話を聞いてからお城山へ出発。

石碑や場所をじっくり見たり、たくさんのふしぎを見つけるために「？」で終わる質問を考えたりしながら、チームごとにお城山を歩きました。



「一の丸じゃなくて本丸なのはなぜ？」

「木の根っこが出ているのはなぜ？」

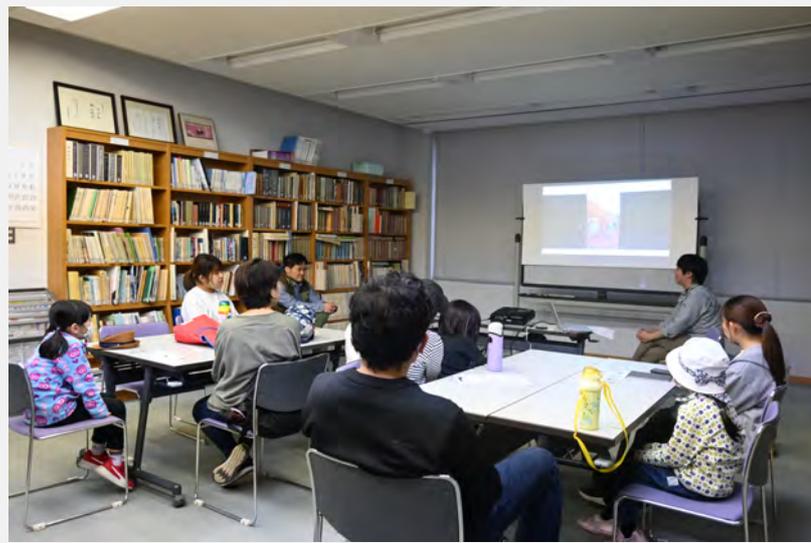
「落ちているフンは何のフン？」

「この石なあに？」

などなど、

いろんな観点からふしぎを探してくれました。

普段何気なく眺めているお城山を、
いつもとは違う視点で見えて触れて
楽しんでもらえたかな。



メカエンジニア

メカの中身と仕組みを
想像せよ！



東京を拠点として活動する探究型学習塾
a.school (エイスクール) の授業を都留市で体験！
『メカエンジニア』になりきって、身近な道具の中身や仕組みについて
体験を通して学びました。
通常8時間コースの体験版を実施。2024年も開催予定です。

話し合っ
て



普段使っている道具の仕組みを調べたら、
夢中になって時間が足りなくなりました。

スケッチし
て



観察し
て



キミの『すき』を かんじ 漢字にしよう



東大生と一緒に漢字づくり

好きなものと漢字を組み合わせたらどうなる？

ワークシートを使ったり、
東大生と話したりしながら考えました。

この漢字の読み方
わかりますか？



最後は、考えた漢字を使って漢字クイズを出し合いました。
他の人が考えた漢字にも興味津々で、大盛り上がりでした。



都留文科大学の吉岡先生と一緒に

WAKUWAKU プログラミング

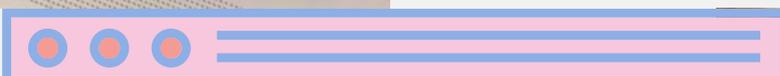
全行程3回



こんなプログラム
ができました。



プログラミングの基礎を学ぶ



マイクロビットで、小学校4～6年生が
プログラミングに挑戦。

それぞれプログラムを組んで実行してみても、
思い通りに動かない時に何がいけないのか考
えて数値やブロックを修正したり、参加者同士
で画面を見合ってどうやって組んでいるのが確
認をしたりして、試行錯誤を重ねていました。



動作確認中

なかにわ部

全行程8回
約3か月一緒に
活動しました

あまり活用されていない中庭を、人が集まる場所にするにはどうしたら良いか？
中庭づくりというプロジェクトを通して探究的に学びながら「自ら学び、自ら考える力」を育みます。

作るのが、植えるのが、きれいにするのが、その中で出来そうなことは何なのか。
目的を果たすための方法と、それを実現するために必要なことを、子どもと大人で真剣に考えました。



1

なかにわ調査開始！

どこにどんなものがあるのか、地図に描いてみんなで見ました。

2

なかにわとその周りを調査！

庭とはどういうものなのか、専門家に教えてもらう。

3

もつとなかにわ調査！

タブレットで写真を撮って集めて、今まで気づかなかったなかにわのことを知る。

4

なかにわでできることを考えた！

わくわくするアイデアが出てきた。どうやって実現しよう。

5

いよいよ作業開始！

池の底が見えないのが気になる。ひとまず池の水を出してみよう。

6

作業の続き！

池の水を抜いたり、スタンプラリーに向けて消しゴムハンコの作成に取り掛かったり。

7

作業の続き！

池の水を引き続き抜いていると、なにやらお宝が...？スタンプラリーの続きもつくってみた。

8

おひろめ会！

振り返りをしてから、保護者の方や地域の方々ともわいわい過ごした。「続けてほしい」「もつと遊びたい」と、とにかくまだやりたい人、「池の水が最初は汚かったけどきれいになったし、こんなに人が集まってくれてよかった」と、自分たちの行動による変化を感じて言葉にしてくれる人がいた。



保護者の思い

お子様の変化や 意外性

集団の中で主張するタイプではないと思っていました。探究メモを見ていると自分のやりたいことをまわりの人にしっかり伝えたり仕切ってみたりと

意外な一面 がみられ、家で見せている顔とは違う顔があるんだと新たな発見がありました。

虫を怖くて触れなかったけど、ヤゴを大量に捕まえていてびっくりしました。

通わせて よかった点

普段接している大人以外の人と新たなつながりを作り、自分の世界を広げてくれたことです。毎週行けたので他の学校や学年のお友だちができたことがよかったです。

他の塾とは 違う点

勉強を教えない塾のイメージがありましたが、すべてが学びにつながっている点では普通の塾に期待している以上のことが、つるラボでは起こっています。

なかにわでの体験で、子どもたち自身が池の水をきれいにしようとして過剰なようですが、高学年の理科で習うより先に**実体験を通じての学び**

があったようです。また自分のやりたいことを実現する為に、言語化してわかりやすく相手に説明するという国語力も鍛えられたようです。

今後期待する点

つるラボに期待することは、**何かを知りたい、知ることが面白いと思える土台作り**

を引き続きしてもらいたいと思います。自宅では私自身にスキルがなくて摘み取ってしまっている探究の芽を伸ばすようなそんな時間を過ごさせてもらえるといいなと思います。



つるラボと一緒に活動しませんか？



公式LINE

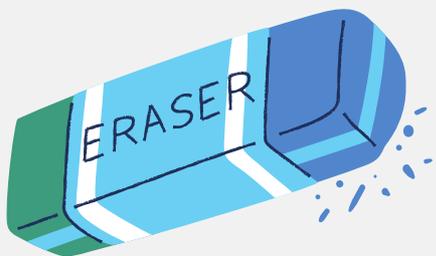


@TSURULABO.JP

最新イベント情報は
LINEで配信！

過去のイベントの様子は
Instagramへ！

今後の事業・活動報告やイベント開催のお知らせなど、つるラボにまつわる最新の情報をどこよりも早くお届けします。保護者の方はもちろん、教育・保育関係者の方、つるラボにスタッフや講師として関わってみたい！という方のご登録也大歓迎です！





会社概要

法人名

一般社団法人

都留まなびの未来づくり推進機構

(都留市の学びのみらいづくりプロジェクトに関する各種事業を行う法人として、地域再生推進法人に指定)

設立

2022年(令和4年)9月15日

所在地

山梨県都留市上谷二丁目2番10号

(まちのtoolbox木棟1F)

社員(理事)

杉本 光司(都留文科大学名誉教授)

石井 弦一郎(都留市役所企画課参与)

奈良 美緒(株式会社つるでつながる
代表取締役)

エグゼクティブアドバイザー

佐藤 洋(都留市ネイチャー
センター博物館学芸員)

スタッフ

鈴木 温未(地域おこし協力隊)

小林 佳代(地域おこし協力隊)

玉井 杏子(地域おこし協力隊)

お問い合わせ info@tsurulabo.jp

HPはこちらから→

